



aeroTAP 空間 3D インターフェイス

3D 映像には、3D インターフェイスを

www.aerotap.com



aeroTAP 3D 空間 インターフェイスは、空中映像、ホログラム映像、VX 映像の没入感を引き出し、直感的な空間操作のために設計したインターフェイスです。

オペレータは、3D 映像やモデルを直感的に操作でき、視界を妨げることなく自然な操作感を体験できます。

対応機器：

MIRAI PIX(空中ディスプレイ)^{*1}

利用用途

- ・ 医療データ
- ・ 博物館、科学館の資料展示
- ・ ゲーム、エンターテインメント



MIRAI PIX(空中ディスプレイ) 操作例

aeroTAP 空間 3D インターフェイスは、信州大学医学部山田哲教授(特定雇用) 指導の下に開発されました。

^{*1} MIRAI PIX(空中ディスプレイ) は、MIRAI BAR 株式会社の製品です。

<https://mirai-bar.co.jp/>

3D インターフェイスは、特許出願中の技術です。



aeroTAP (エアロタップ)、およびタッチレスインターフェイスは、株式会社ネクステッジテクノロジーの登録商標です。





aeroTAP 3D USB カメラ

「aeroTAP3D USBカメラ」はステレオビジョン方式の3Dカメラです。USB3.0または2.0接続することで、距離データとカラー画像を取得することができます。電源供給もバスパワーとなり、簡単に扱うことができます。

aeroTAP タッチレスインターフェース

タッチレスインターフェース「aeroTAP」は、非接触でコンピュータを操作するためのソリューションです。

3Dカメラを接続することで、様々な用途でのタッチレスを可能にします。

手のひらトラッキングモード

「手のひらトラッキングモード」では、カメラから50cmから2.5mの離れた位置でコンピュータの操作を可能にします。



仮想タッチスクリーンモード

「仮想タッチスクリーンモード」では、既存のタッチスクリーンや通常のモニターでの非接触タッチスクリーン操作を可能にします。



既存システムの変更不要

既存のシステムを変更することなくタッチレス化ができるため、例えば医療現場などで使われる重要で複雑なシステムのタッチレス化も容易に行えます。

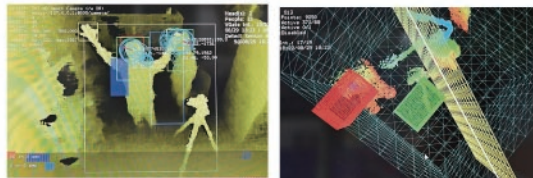


CPU消費が低い

通常3D画像処理や形状認識を行うタッチレスソリューションでは多くの計算が必要で、高性能PCが必須ですが、弊社のaeroTAPでは、CPU消費が他に見えないほど小さく、高価なPCを必要としないことも特徴です。



Smartセンサー：プライバシーに配慮した見守りセンサー

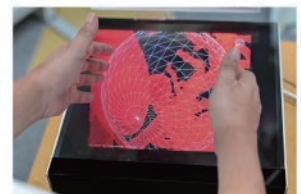


Smartセンサーは、プライバシーに配慮した見守りセンサーです。

Smartセンサーは、3Dデータを分析・学習したAIにより、深度画像から人物の各種姿勢や頭部を認識し、追跡することで、プライバシーに配慮した見守りや作業動作分析を可能にします。

また、空中センサー、仮想ゲート、仮想ケージなど自社の3D技術を使って、見守りに必要な危険な事象を検出します。

トイレや着替えなど、利用者のプライバシー保護を必要とする介護施設はもちろん、作業効率化や危険行動探知などの目的で、製造現場への導入も進んでおります。



ホログラムインターフェース

最新の技術として空中映像などを直感的に操作するための、ホログラムインターフェースを開発し、VXを含む多様なコンテンツのタッチレス操作に対応してきました。